

様式第1号（第9条関係）

議会意見交換会実施報告書

開催日時	平成29年11月13日（月）午後7時～午後8時45分
開催場所	リ्यूートプラザ びわ文化学習センター
参加市民数	60人
出席議員	<p>班長 柴田清行議長          記録者 轟保幸議員          報告者 浅見信夫議員 鋒山紀子議員 竹内達夫議員          中川勇議員 浅見勝也議員          出席議員 石田節子議員 吉田豊議員 佐金利幸議員          草野豊議員</p>
実施内容報告	<p>意見交換会</p> <p>&lt;司会&gt; 山崎正直議員          ◇開会挨拶 柴田清行議長          ◇議員紹介 各議員自己紹介          ◇第1部 議会報告          *平成28年度決算概要 浅見信夫議員          *各常任委員会からの審査報告          ・総務教育常任委員会 浅見信夫議員          ・健康福祉常任委員会 鋒山紀子議員          ・産業建設常任委員会 竹内達夫議員          ・予算常任委員会 中川勇議員          *質疑応答（内容については別紙）          ◇第2部 テーマに基づく意見交換会          *災害（洪水時）に強いまちづくりについて 浅見勝也議員          *質疑応答（内容については別紙）          ◇閉会挨拶 西邑定幸議員</p>
要望・提言等	※別紙のとおり
その他特記事項	なし

市民の皆さまとの意見交換会 11月13日 びわ会場

### 第一部

問；えきまちテラスのペDESTリアンデッキの工事契約7億3千万円について、当初の工事予算額はどうかであったのか、もっと安かったのでは。

答；7億3千万円は入札の結果、議会に提出されたものです。

問；鉄不足のこともあるが、工事は期限に間に合うのか。

答；状況により、間に合わないこともあるかもしれないが、期限に間に合うよう議会としても努力していきます。

問；下に道路があるのにペDESTリアンデッキは無駄でないのか、当初のいきさつはどうか。

答；議会でも必要か議論しました。中心市街地活性化事業、駅前再開発事業であり、総合的に判断しました。

問；当初は、南のデッキと同時にするようになっていたのではないのか。税金の無駄遣いでないか、工事時期をずらしたのは何故か。

答；中心市街地活性化事業において、長浜駅を中心としたにぎわいを生むため、南側のものだけでは不十分と判断しました。

問；駅を中心と言ったが、駅はきれいになった。踏切を拡幅するとか道路を広げるとか、豊公園、びわ湖へのアクセスを良くすることが大切ではないか。

答；駅を中心としたアクセスについては、行政当局に申し入れや指摘を行っていきます。

問；えきまち株式会社は、資金計画に甘さがあるのではないか、議会はチェックしたのか。

答；えきまちテラスの事業費は7億5千万円で、この内当初、経産省から4億円の補助金が予定されていましたが、国の方針変更で補助金が1億円となり、3億円の不足となりました。4つの銀行からの協力でさらに1億円多く借入れができるようになり、委員会としても開業させることを優先し、市の2億円の貸し出しを了承し、開業しました。

### 災害に強いまちづくりについて

問；今年3回の台風の襲来があり、台風21号でも難波橋から錦織橋が危険であった。姉川の切り通しは止まったが、姉川と高時川の合流地点にだいぶ土砂が堆積している。

過去浸水の危険から避難したのは8回ある、不安な思いである。このままではこの町に住み続けることができない。災害が起こってからでは意味がない。早急に土砂を撤去してほしい。

答；県は河川整備計画を前倒しでやると言っています。要望を継続していきます。

問；台風21号で大井川があふれ床下浸水があった。今後の対応はどうするのか。八幡中山・十里の町内ではどうしようもない。何とかしてほしい。

答；神照地区は深刻です。自治会からの要望も出ているので承知しています。真剣にとらえています。市と県と一緒に頑張って対応してまいりたい。

問；大井町は8月7、8日浸水があった。はっきり言って対応が遅い。鉄橋の下が土砂堆積で狭くなっている。県土木に何遍言っても対応してくれない。台風21号でも堤防から水漏れがあった。いつ堤防が切れるか心配である。前倒して河川整備をしてほしい。

答；河川整備計画では、姉川の改修もしていくことになっています。しっかり対応していきます。

問；安養寺に住む者である。丹生ダムがなくなったので、高時川の改修を20年間で80億円かけてしていくと聞いているが、上流からでは下流に土砂が溜まってしまふ。下流からしてほしい。難波橋から野寺橋は浅くなっている。錦織はとても困っている。下から先にするよう強く言ってほしい。

答；河川整備計画は20年間で下流から上流にしていくことになっています。上流においては、特に危険なところを改修することになっています。河川整備計画は昭和50年の戦後最大相当の洪水を安全に流下させる対応となっており、現在、詳細設計が行われています。  
びわ地域では、3回の避難勧告が出されたことを十分認識しています。皆さんの要望に応えるよう県に要望します。

#### 自由な意見交換

問；5月の意見交換会で不適切な状況で来ている議員がいた。調査してほしい。

答；調査いたします。

問；議会改革は何をしているのか。

答；25年に議会のルールである議会基本条例をつくり、議員の資質向上や意見交換会での情報公開に努めています。

問；定数削減はどうなっているのか。議会改革でないのか。

答；現在、議長の諮問機関である議会活性化委員会で、次の議会から減らすか減らさない方が良いのか検討しています。

問；議員は減らさない方がよいと思う。

答；今のご意見も参考にいたします。

問；水害対策は下流からしてもらう方が良い。  
高月の給食センターの土地であるが以前は産業廃棄物処理場であった。給食を作る場所であるのに土壌汚染に問題がある。改めて調査してほしい。

答；十分ご意見を参考にし、当局へ意見いたします。

問；議会広報は詳しくすぎてわかりにくい。年寄りには見づらく、もっとわかりやすくしてほしい。意見交換会は何遍も一人の意見を聞くのではなく、もっとみんなの意見を聞いてほしい。

答；貴重なご意見をありがとうございました。